

西から東へつながる絆の輪きずな

大村市は被災地を支援します

3月11日午後、東日本を襲った大規模な地震と津波は、東北地方の広い範囲に壊滅的な被害をもたらした。多くの人が犠牲となり、その被害の大きさに誰もが驚愕きょうわくしました。犠牲者の皆さまに哀悼の意をささげ、負傷者や被災者の皆さまへお見舞い申し上げます。市でも支援体制を整え、また多くの市民の皆さんの支援の輪も広がっています。被災地の一日も早い復興と、被災者の皆さまに平安な日々が戻りますよう願っています。

被災地の一日も早い復興を願って



本市の自衛隊員による活動

本市に拠点を置く自衛隊員たちは、災害派遣活動のため被害が甚大だった宮城県気仙沼市で、行方不明者の捜索活動や、道路の復旧作業、救援物資の輸送、給水支援活動などさまざまな支援活動を行っています。

◎派遣状況(4月1日現在)

陸上自衛隊大村駐屯地	人員約750人	車両約220両
竹松駐屯地	20人	12両
海上自衛隊大村基地	130人	ヘリ約10機

大村駐屯地伊崎司令 現地からのコメント



大村駐屯地からの派遣隊員は、大村から遠く離れた宮城県気仙沼市周辺で、大村・長崎の代表として、被災された人々を支援する各種活動に取り組んでいます。

被災地は、戦場でもこれ程ひどくはないだろうと思える惨状で、到着した当初は、どこから手をつけていいかわからず立ち尽くしていました。3週間が過ぎた今、仕事の厳しさは変わりませんが、被災された方々の声に耳を傾けながら、積極的に支援ができるようになっていきます。

「ありがとう」の一言、子どもたちのかわいらしい敬礼、お礼の手紙、慰問演奏でおばあちゃんが流した涙、それらを力に引き続き奉仕の心を持って、被災地の復旧のため頑張っていきます。

がんばろう東北!がんばろう日本!

大村駐屯地司令 1等陸佐 伊崎 義彦



本市医療チームによる活動

(4月1日現在)

◎国立長崎医療センター

派遣場所

福島県内各避難所、宮城県内各避難所など

派遣人数…15人

主に、緊急被ばくスクリーニングや巡回診療などの医療支援を行いました。

◎大村市民病院

派遣場所

宮城県女川町立病院

派遣人数…8人

主に、病院、避難所での医療支援や医療チーム・救援物資の搬送などを行いました。



被災地の一日も早い復興を願って
がんばれ東北! がんばれ日本!

▶くじら認定こども園の園児がこどもセンターを訪れ、支援物資の仕分け作業をしていた高校生ボランティアのお兄さん・お姉さんに段ボールいっぱいの絵本やおもちゃなどと被災地の子どもたちに向けた応援メッセージを手渡しました。
(4月4日)



◀「大規模災害等の発生時における相互応援に関する協定」に参加する7自治体の一つである花巻市からの応援要請を受け、市が備蓄しているクッキーやスティックパン、ビスケットなど1,830食分の救援物資を長崎空港から輸送。
(3月16日)



◀「Love&safetyおむらこども応援緊急プロジェクト」の呼びかけに、市内外から2,000点を超える絵本やおもちゃなどが集まりました。



◀市で行っている被災地に対する支援活動を行うボランティア活動に、市内の高校生が参加し、義援金の受け付けや救援物資の整理作業などに従事していただきました。
(4月1日～5日)



▶東日本大震災大村市緊急支援本部を設置し、義援金の受付開始。
(3月14日)



▶被災地応援給水業務のため、福島県郡山市へ市水道局職員4人を派遣。3月21日まで現地で活動。
(3月15日)



▶市役所で、救援物資7品目の受け付けを開始。随時被災地へ輸送。
(3月18日)



子どもたちは…

市の活動

今、私たちにできること

現在の支援状況

市民の皆さんの
あたたかいご支援
ありがとうございます

義援金集計額
18,696,573円

救援物資申込
502件
被災家族受入世帯
2件

(4月11日現在)

民間事業所では…

▶長崎街道大村宿カレーマップの会がレトルトカレー1,020食を提供。
(3月30日)

▶狩野ジャパンがスープヌードル段ボール59箱、およそ1万食分を提供。宮城県名取市へ輸送。
(3月26日)

▶大村電気工事業協同組合が避難家族の受け入れの準備を行っている、市営住宅14戸に取り付ける照明器具30器を寄贈。
(3月31日)

▶長崎県トラック協会大村支部が、救援物資を集積地へ搬送協力。また、日本航空が救援物資を被災地へ空輸協力。

▶大村市で受け入れた被災家族に対しては、九州ガスからガスコンロと湯沸かし器が提供され、畳工業組合大村支部からは、畳の表替えをしていただきました。



市民の皆さんの心温まるご支援に感謝申し上げます。しかし今もなお、避難生活を送っている多くの被災者がいらつしやいます。市は、一日も早い復興を願い、できる限りの支援を検討しています。引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

